

情報モラルの指導を学校全体で体系的に行うためには、校内の推進体制を確立することが大切である。そこで本章では、情報モラルの指導の校内推進体制づくりに有効な手段として、情報モラルの指導を進めるための基本的な考え方や実践についての共通理解の場となる校内研修と具体的な指導の目安となる指導計画の作成について述べる。

1 情報モラルの指導を充実させるための校内研修

情報モラルの指導を充実させるためには、学校全体として、情報モラルの指導についての理解や認識を高めることが必要である。そのためには、情報モラルの指導に当たり、教員がもつべき知識の理解や、実際の指導を想定した模擬授業を行うなどの校内研修を実施することも必要である。

(1) 校内研修に盛り込む基本的な知識

教員が情報モラルの指導に当たる際にもつべき基本的な知識として、以下の四つが挙げられる。

ア インターネット上で起きていることに関すること

インターネット上の問題事例が起こっているWebサイトを実際に閲覧して問題点を把握したり、実際に起きている問題事例を、新聞やニュース等で把握したりすることで、教員がWebサイトの危険性を知ることが、情報モラルの指導の第一歩である。

イ 情報モラルの教材・授業実践事例に関すること

インターネット上には、指導事例や教材等、様々な情報がある。それらを参考にするとともに、活用できる教材や情報を教員全体で共有できるように工夫する。

ウ 法令に関すること

児童生徒がインターネットに起因する問題の加害者にも被害者にもならないように、関連する法令について研修する。特に、問題の多い、他人の個人情報の公開、誹謗中傷による名誉毀損、著作権に関する事などを知る。

エ 問題の対処に関すること

情報モラルに関する問題が発生したときの学校としての組織的な対応の在り方や考え方について研修する。また、生徒指導上の問題事例等で情報モラルの指導と関連する内容を整理し、学校全体として取り組めるよう研修を充実させる。

なお、特にネット上のいじめについては、文部科学省が作成した以下のWebサイトを参考にすると良い。

<参考> 「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事例集

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/11/08111701.htm

(2) 模擬授業の実施

実際の指導を想定して、情報モラルの指導の模擬授業を行うことも効果的である。その際には、インターネット上の指導事例や教材等を積極的に活用するとともに、模擬授業後に授業研究を実施することが重要である。さらに、ワークショップの手法を生かした授業研究を取り入れることで、情報モラルの指導に対する理解や認識を一層高めることができる。

2 校内研修の実践例

ここでは、小学校における校内研修の実践の一部を紹介する。

(1) アンケートの実施と研修計画

はじめに、情報モラルの指導を推進するために何が必要かについてアンケート調査を実施し、情報モラルの指導を学校全体で系統的・継続的に取り組むためには、①学校全体での共通理解、②ガイドラインやマニュアル、③すぐに使える教材（Webサイト上の教材を含む）の三つの内容の研修が必要であると考えた。これを基に、次の図16の流れで2時間の研修を計画した。

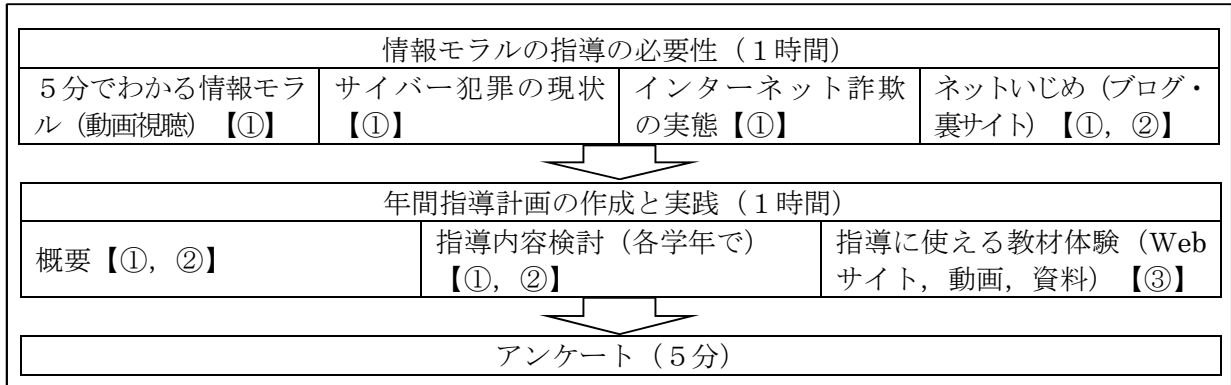


図16 情報モラルに関する校内研修計画

(2) 研修の実施

研修の内容は前述の①～③を網羅し、情報モラルの視点を入れた研究授業・授業研究を行うことも加えて、次のア～エの四つを柱として実施した。

ア 現実に起きている問題を実感できる校内研修

(ア) 動画や資料、実際に問題となっているWebサイトやWebサイト上の疑似体験教材を活用して、現実に起きている犯罪や問題の実例を紹介した。

(イ) 実際の指導を前提に発達の段階に応じた指導内容を検討し、Webサイトで紹介されている指導事例等を基に討議した。

イ 情報モラル指導の全体計画の作成

発達の段階や教育課程の内容を考慮し、各学年で情報モラルの具体的な指導内容を検討するとともに、系統性を考慮して情報モラル指導の全体計画を作成した。

ウ 教材の準備に関する研修

Webサイトには様々な資料、教材、指導例等があり、リンク集として整理すると、いつでも、誰でも容易に活用できるようになることから、図17のように校内ネットワークの共有フォルダを設定して、教材に関する情報を整理した。

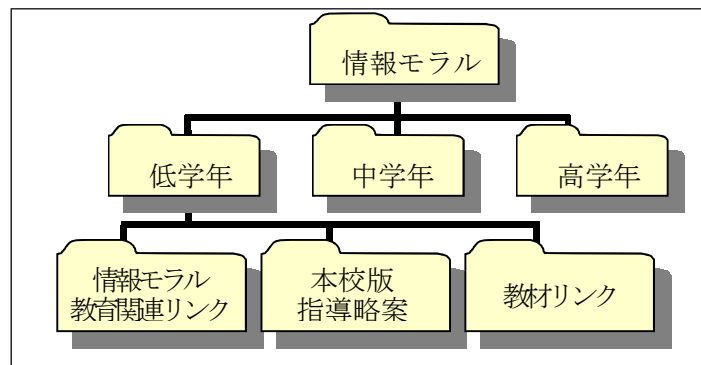


図17 共有フォルダの設定

エ 授業を通じた指導法の研修

情報モラル指導の全体計画を基に、道徳や各教科指導で情報モラルの視点を入れた授業を実施するとともに、研究授業・授業研究を実施し、指導法の改善を図った。

3 情報モラルの指導計画の作成

情報モラルの指導は広範囲であり特定の教科等のみで行うことはできない。情報モラルの指導を学校全体として体系的に行うためには、情報教育の年間指導計画の中に盛り込み、それを基に各教科等での指導計画に情報モラルの指導を位置付けることが重要である。

(1) 情報モラル指導モデルカリキュラムの自校化

情報教育の年間指導計画を作成する際は、文部科学省の委託事業で示された「情報モラル指導モデルカリキュラム表」（6頁）を参考にするとよい。「情報モラル指導モデルカリキュラム表」は、小中高一貫のモデルカリキュラムとして示されており、情報モラルの学習目標が、学習指導要領レベルでまとめた大目標、中目標レベルから、具体的な学習項目を示す小目標に至るまで細かく設定されている。

しかし、このモデルカリキュラムは、標準的な項目を示しているため、学校の課題や児童生徒の状況、地域の実情に合わせて自校化した情報モラルの年間指導計画を作成することが望ましい。

(2) 年間指導計画の作成

情報教育の年間指導計画の中に情報モラルの欄を設けて、自校化した情報モラルの年間指導計画を指導事項と指導内容とに整理して位置付ける。また、作成に当たっては、5頁に示した情報モラルの指導内容の「心を磨く領域」と「知恵を磨く領域」の2領域をバランスよく配し、5分野については児童生徒の発達の段階に応じて計画をした上で、各教科等の内容と、どのように関連付けた指導を行えるかを想定しながら構成することが重要である。

(3) 各教科等での指導計画

各教科等で作成される年間指導計画や学習指導案に、情報モラルの観点を追記することで情報モラルの指導が一層充実したものになる。ここでは中学校の「情報モラル指導モデルカリキュラム表」で使用されているコードを利用して、学習指導案を作成した例を示す。

ア 情報モラル指導モデルカリキュラム表（一部抜粋）

大目標	中目標	コード
社会は互いに法律・ルールを守ることによって成り立っていることを知る。	違法な行為とは何かを知り、違法だと分かった行動は絶対に行わない。	c 4-1
	情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る。	c 4-2
	契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する。	c 4-3

イ 学習指導案（一部抜粋）

過程	主な学習活動・内容	時間	指導上の留意点
導入	2 サイバー犯罪の検挙状況について知る。	4分	<ul style="list-style-type: none"> 警察庁の資料を提示し、どのようなサイバー犯罪があるか示し、サイバー犯罪は身近な犯罪であることを意識させる。 【情報モラル c 4-2】

コードを利用することにより、情報モラルの指導の位置付けが明確になってくる。

4 「総合単元的な情報モラルの指導」計画

「総合単元的な情報モラルの指導」を充実させるには、中核となる道徳の時間と事前指導と事後指導を行う教科等との関連を明確にしておかなければならない。そこで、「総合単元的な情報モラルの指導」を行う際の指導計画例を各校種別に示す。

(1) 小学校低・中学年における計画例（一部抜粋）

	2年 情報社会の倫理 「約束や決まりを守る」		3年 法の理解と遵守 「情報の発信や情報をやりとりする場合の ルールやマナーを知り、守る」	
	時期	教科等, 学習内容	時期	教科等, 学習内容
事前指導	4月	<p>国語</p> <p>「黄色いバケツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 場面の様子について, 登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み, 感想を書かせる。 ○ 登場人物の紹介文を書くという観点から本を選ばせ, 読ませる。 ○ 紹介文に必要な事柄を理解し, 人物の人柄について説明するのに必要な情報を集めさせる。 <p><情報モラル> 本を選ぶ活動を通して, 図書室の決まりや約束を守る態度を育てる。</p>	1月	<p>国語</p> <p>「詩を読もう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お気に入りの詩集を作るため, 観点を決めて他の詩集を読ませる。 ○ 言葉の響きやリズムなどから, 様子を想像し, それが表れるように音読させる。 ○ 詩集を作り, 紹介し合っ, どんな詩集にしたかったかが伝わったかなど, 感想を交流させる。 <p><情報モラル> 自分の作品や他の人の作品を大切にさせる。</p>
道徳の時間	10月	<p>道徳</p> <p>「オレンジ色のおいしい木のみ」</p> <p>【4-(1)公徳心, 規則の尊重】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ みんなが使うものを大切にし, 約束やきまりを守る態度を育てる。 <p>この時期の児童は, まだ自己中心性が強く, つい自己中心的な行動をとってしまうことがある。その結果, 分かっているにもそれに反する行為をしてしまうこともしばしばある。しかし, 社会規範や約束を守ろうとする気持ちはあるので, その気持ちを大切に本時のねらいに迫る。</p> <p><情報モラル> ネット社会でも普段の生活でも, うそをついたりごまかししたりしない態度を育てる。</p>	1月	<p>道徳</p> <p>「絵はがきと切手」</p> <p>【2-(3)友情・信頼, 助け合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達を信頼し, 助け合おうとする気持ちを育てる。 <p>本資料は, 仲よしの友から届いた定形外郵便の未納不足について, 本人にそのことを知らせるべきかどうか迷う主人公の気持ちが綴られた話である。教えるべきという兄の意見と教えない方がいいのではという母の考えとに揺れながらも主人公は教えることを選択する。学級を母側と兄側に分け, 互いにそれぞれの考えを述べさせるようにする。</p> <p><情報モラル> ネット社会や普段の生活にあるルールやエチケットを知らせ, それを大切にすることを育てる。</p>
事後指導	12月	<p>国語</p> <p>「きみたちは, 『図書館たんていだん』」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相手や場に応じ, 話す事柄を順序立てて, 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話させる。 ○ 図書館や本の分類について知らせ, 本を探させる。 ○ 読書生活の充実につなげる。 <p><情報モラル> 図書室の本の分類を知らせ, 決まりを守って本を探す態度を育てる。</p>	2月	<p>国語</p> <p>「報告書を書こう」</p> <p>豊かな言葉の使い手になるためには</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の中から調べたいことを決めさせ, 必要な事柄について本を読んで調べさせる。 ○ 書こうとすることの中心を明確にし, 構成を考え, まとまりに分けて書かせる。 ○ 自分の問いを解決するために必要な本や文章を選んで読み, 文章を引用したり要約したりさせる。 ○ 他教科での文献調査・報告の活動に生かさせる。 <p><情報モラル> 情報の発信ややりとりする場合には, ルールやマナーがあり, 言葉遣いも大切であることを理解させる。</p>

(2) 小学校中・高学年における計画例（一部抜粋）

		4年 情報社会の倫理 「相手への影響を考えて行動する」	6年 情報社会の倫理 「情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する」
		時期	時期
		教科等, 学習内容	教科等, 学習内容
事前指導	4月	<p>国語</p> <p>「調べて発表しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関心のあることなどから話題を決め、必要なことを調べて要点をメモさせる。 ○ 相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、話し方を工夫して話させる。 ○ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりさせる。 ○ 社会科や理科、総合的な学習の時間などでの、調査報告・発表の活動に生かすようにする。 <p><情報モラル></p> <p>調べて発表する場合も調べたことと自分の考えを区別し、引用については出典を明らかにするようにさせる。</p>	<p>国語</p> <p>「町のよさを伝えるパンフレットを作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「町のよさを伝える」ために、書く事柄を収集し、集めた事柄をパンフレットの構成に沿って整理させる。 ○ パンフレットという様式の特徴を理解し、表現の効果を考えて文章全体の構成や、目次や見出し、リード文、解説文などを工夫させる。 ○ 引用したり、写真や図を用いたりして、伝えたいことが明確になるように書かせる。 ○ 修学旅行のまとめや、卒業文集などの作成時に生かすようにする。 <p><情報モラル></p> <p>著作権についての意識をもち、引用の仕方を理解し、適切に行う態度を育てる。</p>
	10月	<p>道徳</p> <p>「オトちゃんルール」</p> <p>【2-(3)友情・信頼、助け合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちの気持ちや立場を理解し、助け合っていこうとする心情を育てる。 <p>友達の気持ちや立場をよく理解し合い、信頼し合うことは友達関係の望ましい姿である。また、こうした願いは本来のどの児童ももっている願いである。こうした本来の願いを基にしながら、児童は互いをかけがえのない存在として認め合い、様々な場面で仲良く助け合うような気持ちをもたせる。</p> <p><情報モラル></p> <p>友達の話を聞いたり、自分の話を聞いてもらったり、情報の提供に感謝する態度を育てる。</p>	<p>道徳</p> <p>「のりづけされた詩」</p> <p>【1-(4) 誠実・明朗】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分に誠実に、明るい心で生活しようとする気持ちを育てる。 <p>児童が健康な自己像をもつには、自分のよさを見いだして発揮し、しかも自分の心に誠実であることが必要である。自分をよく見せたいと思うあまり、自分の心にそぐわないものと本当の気持ちとの間で、葛藤が起こることがある。自分のよさは、自分の心に誠実であるところに発揮されることを考えさせる。</p> <p><情報モラル></p> <p>人の著作物には、著作権があることを知り、尊重する態度を育てる。</p>
事後指導	12月	<p>国語</p> <p>「三つのお願い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読ませる。 ○ 読んで考えたことを発表させ、感じ方の違いに気付かせる。 ○ 書こうとすることの中心を明確にし、理由を挙げて書かせる。 <p><情報モラル></p> <p>ネット社会でも普段の生活でも、他の人との関わり方を大切にする態度を育てる。</p>	<p>国語</p> <p>「短歌を作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 短歌のもつ表現の効果を確かめたり、工夫したりさせる。 ○ 作った短歌を発表させ、表現の仕方に着目して助言し合う態度を育てる。 <p><情報モラル></p> <p>著作権についての意識をもたせ、自他の作品を大切にする態度を育てる。</p>

(3) 中学校における計画例（一部抜粋）

	1年 情報社会の倫理 著作権などの知的財産権を尊重する。		2年 情報社会の倫理 個人の権利（人格権，肖像権）を尊重する	
	時期	教科等，学習内容	時期	教科等，学習内容
事前指導	6月	技術・家庭科（技術分野） 「情報モラルと知的財産」 ○ 情報モラルの必要性について理解させる。 ○ 情報を発信する際に注意することを相手の立場に立って考えさせる。 ○ 人権や個人情報保護のためのルールやマナーについて理解させる。 ○ 知的財産を保護し，ネットワークを利用していく方法を理解させる。 <情報モラル> 著作権や，情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と，発信者としての責任についての知識を身に付けさせる。	7月	学級活動 「地域・社会に生きる一員として」 『アクセスの代償』 【(2)ーキ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成】 ○ 掲示板等への書き込みによるネット上のいじめがあることを理解させる。 ○ 掲示板への誹謗・中傷の書き込みは，匿名ではなく，名誉毀損の訴えにより捜査が入れば特定されることを理解させる。 <情報モラル> 携帯電話やパソコンの掲示板などを利用する際の心構えを理解させ，ネット上のいじめにあったときどのように対処すればよいか考えさせる。
道徳の時間	7月	「メールと依存症」 【4-(1) 秩序と規律】 ○ 法やきまりの意義を理解し，遵守するとともに，自他の権利を重んじ義務を確実に果たして，社会の秩序と規律を高める心情を育成する。 社会生活に秩序を与え，摩擦を最小限にするために，人間の知恵が生み出したものが法やきまりであることや，社会の秩序と規律を守ることによって，個人の自由が保障されることが大切であることを気付かせる。 <情報モラル> メールなどをする際，相手の都合やルールを決めて利用することの大切さを理解させる。	10月	「立ち向かえ！ひきょうな書き込み 深まるキズナ」 【2-(2)思いやり】 ○ 温かい人間愛の精神を深め，他の人々に対し感謝と思いやりの心情を育成する。 思いやりの心は，自分が他に能動的に接するときに必要な心の在り方であるので，他の人の立場を尊重しながら，親切にし，いたわり，励ます生き方として現れるようにさせる。 <情報モラル> 掲示板などに書き込みをするときは，注意をしないと相手を傷つけることがあることを理解させる。また，相手を傷つける表現などないか思いやりの心を大切にすることを育成する。
事後指導	9月	総合的な学習の時間 「地域を知る」 ○ 郷土について自ら興味をもったことから課題を見付け，調べようとする態度を育成する。 ○ 調べたことや考えたことを他者に分かりやすく伝えさせる。 <情報モラル> 著作権を配慮して，調べたことをまとめさせたり発表させたりする。	12月	国語 「人権作文を書こう」 ○ 社会生活の中から課題を決め，自分の考えをまとめさせる。 ○ 伝えたいことが明確になるように表現を工夫させる。 ○ 書いた文章を読み返し，言葉遣いや内容を見直させる。 <情報モラル> 相手の立場になって表現を工夫する必要があることを理解させる。